

令和3年度 多忙化改善計画

学校名：わかば支援学校ふじかわ分校

No.	項目	現状と課題	R4年度に目指すべき状態	① R3年度に実施する内容 ②R4年度に向けて検討する内容	達成状況
1	会議等の効率化	時間短縮については改善してきているが、運営方法等にはまだ改善の余地がある	会議時間は原則すべて1時間以内とし、効率的に運営されている。要点を絞り計画的に準備を進めることにより会議回数を減少させる。紙面開催も取り入れる。	① 会議時間及び終了時間の厳守を実現させるため、資料のペーパレス化、事前配付などの取り組みを徹底するとともに、会議内容を精選し、提案を具体化することで、さらなる効率化をはかる（達成目標：昨年度比10%削減） ② ①の内容を検証後、R4年度に向けた達成目標を検討する	
2	学校行事の負担軽減	行事の精選について取り組んだが、校外学習の見直し等、行事の効率的な実施については、さらなる検討が必要である	学校行事は計画的に周到に準備されており、無理なく実施されている	① 行事は早期に計画的に準備し、突発的な準備等の必要が生じないように綿密なスケジュールを組み立て、連絡調整を密に行い、実施する ② ①の内容を検証後、R4年度に向けた達成目標を検討する	
3	校内組織の見直し	統合された校務分掌について、業務内容や業務量に差がある	必要な業務内容が各分掌に適切に割り振られている	② 各分掌内の業務内容を検証し、業務の平準化を図る ② ①の内容を検証後、R4年度に向けた達成目標を検討する	
4	業務の効率化	業務引継資料が十分に整備されていないため、効率的な業務遂行に課題がある	わかりやすい引継ぎ資料に基づき、業務がスムーズに行われている	② 全ての分掌が、年度末までに業務引継書を作成し、提出を徹底する ② ①の内容を検証後、R4年度に向けた達成目標を検討する	
5	部活動の負担軽減	部活動は実施していない	(なし)	(なし)	
6	地域人材の活用	地域交流等に際し、過疎化と高齢化により、求める人材が不足している	地域ボランティア等が十分確保でき、活用できる状況がある	② 地域の人材についての情報を広く求めていく ② ①の内容を検証後、R4年度に向けた達成目標を検討する	
7	その他	勤務時間終了後も残業する職員がおり、ワークライフバランスの観点からも課題がある	ワークライフバランスの意識が周知され、業務内容の見える化等を心がけながら業務を遂行して	① 月二回の定時退校日を「きずなの日」と位置づけ、完全実施することで児童生徒や家族とのふれあい時間を確保する ② ①の内容を検証後、R4年度に向けた達成目標を検討する	

			いる		
--	--	--	----	--	--

※達成状況：次のA～Dで評価し、各年度末に県立学校は県教育委員会へ、公立小中学校は市町村（組合）教育委員会へ提出する。

A 達成できた B ある程度は達成できた C あまり達成できなかった D 達成できなかった